

平成25年度 千葉大学法経学部同窓会総会

期日 平成25年7月20日（土）

会場 千葉市稲毛区弥生町1-33

千葉大学西千葉キャンパス

人文社会科学研究棟・マルチメディア講義室

千葉大学法経学部同窓会

FAX : 043-290-3655

E-メール dosokai@le.chiba-u.ac.jp

総会等次第

日時： 平成25年7月20日（土） 12時10分 受付開始
13時00分 開会

場所： 千葉市稲毛区弥生町1-33
千葉大学西千葉キャンパス・人文社会科学研究棟マルチメディア講義室

（総会） 13時00分～14時00分（マルチメディア講義室）

1. 開会のことば
2. 千葉大学法経学部同窓会長挨拶
3. 来賓挨拶
4. 議事
 - （1）第1号議案 平成24年度事業報告の件
 - （2）第2号議案 平成24年度収支計算書承認の件
監事報告
 - （3）第3号議案 平成25年度事業計画（案）承認の件
 - （4）第4号議案 平成25年度収支予算（案）承認の件
5. 質疑
6. 議案の承認（4について一括承認）
7. その他
8. 閉会のことば

（記念講演会） 14時00分～15時00分（マルチメディア講義室）

1. 講師紹介
2. 演題「持続可能な社会づくり ―地域振興と震災復興から考える」
講師：小林 正典 氏（平成元年卒業）
横浜国立大学大学院環境情報研究院 特任准教授
3. 謝辞

（懇親会） 講演終了後15時10分～17時00分（けやき会館レストラン）

平成24年度事業報告

第1号議案 平成24年度事業報告

平成24年度は、総会で承認いただきました事業計画に基づき、法経学部同窓会の目的である「会員相互の親睦」と「母校の発展への寄与」の達成に努めてまいりました。その主な活動結果は次のとおりです。

1. 同窓会の活動基盤

(1) 会員数の動向

平成24年度の会員総数は、平成25年3月時点で、概ね13,500余名であります。課題としては、若手会員の積極的な参加をどう図っていくかにあります。

(2) 定例総会

(ア) 総会

平成24年7月14日(土)に60余名の会員の出席により、千葉大学西千葉キャンパス人文社会科学研究棟2階マルチメディア講義室において、平成23年度の活動報告・決算報告の承認、平成24年度の活動計画・予算案の承認が行われました。

(イ) 記念講演会

定例総会に引き続き、昭和34年、文理学部卒業の天野平八郎氏より

「高速道路料金制度への提言と東北の生産基盤強化」と題するご講演をいただきました。

なお、講演後、懇親会にもご出席をいただきました。

(3) 寄付の募集

同窓会活動の基盤となる財政の強化のため、会員からの寄付を受け付けることとし、会報に振込用紙を同封し、多くの方々から、多大なご支援をいただきました。会報に氏名を掲載させていただきました。

(4) その他

2. 会員相互の交流状況

(1) 定例総会後の懇親会

例年通り、定例総会及び記念講演会の終了後、法経学部の先生方のご参加もいただき、懇親会を開催いたしました。

(2) 名簿の発行

会員名簿については、平成14年(2002年)3月に発行して以降、個人情報保護法の関係等もあり、発行しておりません。今後の取り扱いについては、引き続き理事会で検討してまいります。

(3) 同窓会報の発行

会報が、会員間の情報、連絡に占めるウエイトが高いことがありますので、年2回発行すると共にページ数の増加、内容の充実に努めてきましたが、掲載記事等の遅れなどがあり、今年度は、年1回の発行になりました。

第22号の会報は、平成24年6月1日に発行し、「松田忠三教授の退官にあたっての謝辞」同窓会活動の活性化を図るための取り組み、各方面での同窓生の活動状況等をお届けいたしました。

(4) インターネット上の同窓会活動

「千葉大学 法経学部 同窓会」のホームページを、千葉大学のホームページとは別に単独で開設しております。ホームページが果たす役割は、若手会員にとっては同窓会との連絡の有効な手段であり、また、会員相互の情報等に非常に役立つため、まだ、十分に周知されていないので、周知を図るとともに、さらに積極的に活用すべく検討していきます。

「法経学部同窓会」で検索すれば、トップ表示されます。

[URL:http://chiba-u-le-dousou.jp/](http://chiba-u-le-dousou.jp/)

ですので、アクセスしてみてください。

(5) フェイスブックへの取り組み

現在60人の同窓が登録されています。

facebookのアカウント取得後、facebook上で「千葉大法経学部同窓会」検索するか、

<https://www.facebook.com/#!/groups/219140528153090/>

で開けます。今後一層の拡大を図ってまいります。

3. 母校への支援活動

母校発展の活動として、法経学部の先生方と緊密な連携をとりながら、以下の取り組みを行いました。

- (1) 就職活動支援（就職指導員の配置など）
- (2) 卒業生祝賀会
- (3) 校友会への支援
- (4) 卒業記念品の授与
- (5) 法科大学院への支援

4. 会議等

平成24年7月14日 同窓会総会・理事会
平成24年6月9日 理事会、年次幹事会
平成25年3月3日 理事会、年次幹事会
を、開催した。

第2号議案

平成24年度収支計算書（自：平成24年4月1日～至平成25年3月31日）

（第1部）収入・支出の計算

単位：円

収入の部				(参考)
科目	予算額	決算額	差異	前年度決算
新入生入会金	3,700,000	3,900,000	200,000	3,850,000
総会会費収入	180,000	126,000	△54,000	186,000
寄付金の収入	210,000	102,000	△108,000	428,000
預金利息	10,000	2,928	△7,072	12,955
計	4,100,000	4,130,928	30,928	4,476,955
支出の部				(参考)
科目	予算額	決算額	差異	前年度決算
会報費	1,500,000	618,160	△881,840	1,432,402
就職活動援助費	600,000	600,000	0	600,000
総会開催費	200,000	311,000	111,000	267,666
前期卒業生祝賀	40,000	30,000	△10,000	30,000
会議費	50,000	43,356	△6,644	63,561
事務費	150,000	180,425	30,425	265,404
事務局費	50,000	20,000	△30,000	0
校友会費	120,000	100,420	△19,580	100,420
卒業記念品	700,000	589,820	△110,180	688,620
法科大学院支援	300,000	300,000	0	300,000
ホームページ維持費	150,000	150,000	0	150,000
予備費（義捐金）等	150,000	0	△150,000	300,000
次期繰り越し①	90,000	1,187,747	1,097,747	278,882
計	4,100,000	4,130,928	30,928	4,198,073

（第2部）繰越金の計算

項目	内訳	金額	備考（使用目的）
前期末繰越金	預金残高	15,327,936	母校協力積立金 1,000,000
	手許現金	1,106	
	合計②	15,329,042	
当期の次期繰越金(①+②)		16,516,789	
当期末繰越金	預金残高	16,546,144	母校協力積立金 1,000,000
	手許現金	△29,355	
	合計	16,516,789	

第3号議案 平成25年度事業計画

会員相互の連絡親交を密にし、合わせて母校の発展に寄与するという同窓会の目的達成のため、校友会との連携のもと、同窓会活動をより充実させ、会員にとって魅力のある会の運営となるよう努める。

1. 同窓会の活動基盤強化

(1) 新入会員の確保

同窓会活動の基盤となる新入会員の確保については、法経学部の先生方と十分な相談、連携のもとに取り組んでいくこととする。

(2) 会員データベースの整備・充実

同窓会員のデータベースについては、個人情報の保護にも十分留意しつつ、これまで不明の部分を含み、整備・充実していくこととする。

(3) 定例総会の活性化

同窓会活動については、総会に出席することで、より一層の親近感や理解が深まるため、出席者の増員を図るため方策を、年次幹事会等で検討したい。

2. 会員相互の親睦活動の充実

会員にとって身近で魅力ある会とするため、行事等の充実を図る。

(1) 行事の充実

定例総会後の懇親会をはじめとして、会員相互の親睦をはかる行事の充実に努める。

(2) 広報活動の強化

ア. 会報の充実

会員にとって、大学の現在の動きがわかりやすく伝わり、会員が参加できる場として内容を充実させる。同級生の懇親会等があった場合などは、写真、メンバー等を送っていただければ、会報に掲載したい。

また、会員の中で、特殊な仕事の方に投稿依頼したいので、情報があれば、お知らせ下さい。

イ. ホームページの活用

同窓会のホームページが、会員にとって大きな情報伝達であり、更なる充実を図る。

同窓会として、Facebook サイトも開設した。

(3) 年次幹事会の活用

各卒業年次では定期的な会合等の連絡体制が取られている。

年次幹事会を設けて、同級会と同窓会のパイプ役として、その活用を図っていききたい。

ア 平成24年6月9日には、17名の年次幹事が集まって、今後の活性化を話し合った。

イ 平成25年3月3日には、14名の年次幹事が集まって、総会の日程等を決定し、多くの参加を目指す事とした。

3. 母校の発展への寄与活動

母校の発展への寄与活動については、学内理事と相談しつつ、これまで就職活動支援、卒業祝賀会、卒業記念品贈呈などの取り組みを行っている。また、大学側からの要請があれば、学生への支援事業を検討したい。

4. 組織の活性化

同窓会の活動を活発にするため、理事の増員を図ったが、十分な活動とはなっていない。理事と年次幹事が、活動の中核であるので、今後、連携をとって活動が広げられる様、検討していききたい。

なお、理事の役割分担制を実施しているが、十分に機能させる点でむずかしいところがあるが、今後とも努力していききたい。

なお、法経学部棟4階に同窓会室が整備されているので、活動の拠点として活用していききたい。

第4号議案

平成25年度収支予算案（自：平成25年4月1日～至：平成26年3月31日）

収入の部		
科目	予算額	備考
新入生入会金	3,700,000	
総会会費収入	180,000	
寄付金の収入	210,000	
預金利息	10,000	
計	4,100,000	
支出の部		
科目	予算額	備考
会報費	1,300,000	
就職活動援助費	600,000	
総会開催費	200,000	
前期卒業生祝賀	40,000	
会議費	50,000	
事務費	150,000	
事務局費	150,000	事務局備品等
校友会費	120,000	
入・卒業記念品	700,000	入・卒業
法科大学院支援	300,000	
ホームページ維持費	150,000	
予備費	250,000	
次期繰り越し	90,000	
計	4,100,000	